

第237回

医学セミナー

(特別講演109回)

題目

「PD-1 とがん、そして自己と非自己の識別」

演者

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科
バイオサイエンス領域 機能ゲノム医学研究室
独立准教授 石田 靖雅 先生

日時

平成 30 年 7 月 9 日 (月) 17:30~19:00

場所

生涯教育研修センター1号館 9階 901講義室

座長

藤田保健衛生大学大学院 医学研究科 分子腫瘍学
教授 鈴木 元

≪講演要旨≫

今から 27 年前、私は「自己に対する反応性を獲得した危険な Tリンパ球が apoptosis によって死滅する際に働く遺伝子」を同定すれば、自己-非自己識別の謎に迫ることができるに違いないと考え、厳密なスクリーニング実験を行った。そして、新たに発見された遺伝子があるようなものであって欲しいという願いをこめて、programmed death-1 (PD-1) と命名した。その後の研究により、PD-1 は抗原による T 細胞の活性化を負に制御する分子であることが明らかになった。しかし興味深いことに、抗体によって PD-1 の働きを阻害し、T 細胞を抑制状態から解放するだけで、癌細胞に対する免疫応答が著しく増強されることが示され、PD-1 は「細胞死の誘導」とは全く異なるメカニズムによって、免疫学的な自己と非自己の識別に深く関与することが次第に明らかになってきた。今回のセミナーでは、これまでの PD-1 研究の展開を要約する。

多くの教職員、学生さんの参加を歓迎いたします

世話人・連絡先 法医学教室 教授 磯部 一郎 (2435)